

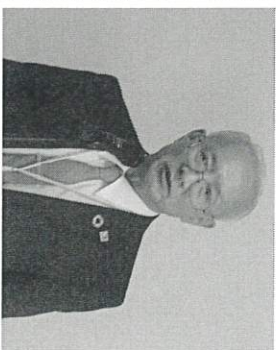
石垣牛流通協議会が総会、植村会長「生産の優位性をおいしさに付加」

日本最南端の銘柄牛「石垣牛」の振興と向上を図り、ブランド保持、高揚および全国への消費拡大促進を目的に昨年設立された、石垣牛流通協議会（植村光一郎会長）は20日、22年度総会を㈱ニチク（東京都江東区）で開催。21年度事業報告、22年度事業計画など上程全議案を承認した。また、役員改選では植村会長らを再任。同協議会の運営は6業種代表の理事会（流通事業者）によって行われており、会員は百貨店、専門店、高級量販店、通信販売事業者、ホテル・旅館業、外食事業者、食肉卸売業、食肉処理事業者、顧問・アドバイザーの各代表者で構成されている。植村会長（写真）は協議会の活動について「まず、生活者に石垣牛のおいしさを認知いただくことに注力する。続いてその理由を説明し、そのあと生産者のこだわりや思いがしっかりと伝わるように生産の優位性をおいしさに付加し、生活者にアピールしていく。さらに生活者がフードチェーンに参加していることを認識してもらおう。生産者の思いも含めて流通事業者が本当に必要としている販売者に供給し、販売者は部位の特性などをしっかり理解して生活者に伝える。生活者はよい食材を見極め、それに対する感謝の気持ちで対価を払う。その繰り返しによって石垣牛は素晴らしいブランドになっていく」と強調。さらに「協議会の認定店の方がたは石垣牛を“育てる、商品として販売し、応援いただいている」として、改めて感謝を述べた。

また、来賓あいさつでは同協議会の相談役でもある中山義隆石垣市長が「石垣ではパイナップルやまぐろなど季節によつてさまざまな農水産物があるが、年間通して供給できるのが石垣牛だ。島内では多くの観光客に食べていただいているが、島外への出荷については生産量が伴わず、出荷体制ができていなかった。現在、島内と畜場のHACCP認証や空港から海外向けの動物検疫など、海外出荷の体制は整っている。しかし、国内流通はまだまだの状況」とした上で「おいしさはもちろん、安全・安心な食品の供給体制を整えながら、行政としてもバックアップしていきたい」とした。

さらに同協議会のアドバイザーである石垣牛肥育部会の仲大盛吉幸会長は「石垣島は繁殖子牛の生産地であり、年間約1万頭が出荷されるが、石垣牛はその1割にも満たない肥育頭数だ。そこで行政の力も借り、まずは1千頭を目標に取り組みんでいる」と説明。さらに「10年ほど前に飼料を統一する以前は、出荷牛は3等級がほとんどであり、上物率は40%にも満たなかった。現在は飼料を統一した効果が出ており、上物率は95%にのぼる。肉質の改良も進んできた。ただ、等級だけにこだわらず、おいしさを追求しながら、皆さまのニーズにこたえられるように努力していきたい」と述べた。

総会終了後には経済評論家の上念司氏による「石垣牛と地域経済」と題した記念講演が行われた。



食肉に関するニュースを確実、迅速にお届けする日刊紙 (隔(土・日) 休曜日)

昭和51年5月19日第三種郵便物認可

食肉速報

令和4年
5月24日(火)
第10999号

発行所 株式会社 食肉通信社
東京支社 東京都中央区日本橋小伝馬町18-1 ①103-0001
②(03)3663-2011 FAX(03)3663-2015
本社 大阪市西区西本町3-1-48 ③550-0005
九州支局 福岡市博多区吉門戸町3番12号 ④812-0029
(092)2771-7816

◆購読料(前納)◆
1ヵ年 82,080円
購読料 76,080円
消費税 6,000円
6ヵ月 42,120円
購読料 38,000円
消費税 3,120円

THE DAILY MEAT NEWS ホームページ http://www.shokuniku.co.jp

- ▽改正輸出促進法、現地市場開拓、オーストラリアでのPRを……………2
- ▽米国で鳥フシ発生、家禽肉等一時輸入停止措置講じる―農水省……………2
- ▽スターゼンG中元ギフト(上)、テーマは「笑顔ひろがる夏の食卓」……………3
- ▽【食肉加工メーカー社長インタビュー】調理製品強化図る、「こてっちゃん」40周年―エスアーズ 村上真之助社長……………4・5
- ▽「食かけるブライズ2022」募集中開始―農水省……………5
- ▽【訃報】中川清一氏(富山県肉連前会長)富山県食肉公取協会長……………5
- ▽石垣牛流通協議会が総会、植村会長「生産の優位性をおいしさに付加」……………6
- ▽栃木県臓器協同組合が総会、事業計画では積極的な共同購入・共同販売……………7
- ▽「POシミンク4月ハム製品」朝のフレッシュロースハムが首位……………7
- ▽「POシミンク4月ソーセイジ製品」シヤウエツセン」が首位……………7
- ▽【関西輸入副生物現物相場】連休明けで需要鈍いが値崩れなし……………8
- ▽【配合飼料生産量・3月】計212万3657tで前年並み……………9
- ▽【大阪の牛・豚枝肉相場】23日……………9
- ▽【東京の牛・豚枝肉相場】23日……………10
- ▽【各地の豚枝肉・豚部分肉相場】23日……………11
- ▽【資料】ハム製品4月POS売れ筋品目&ストランキンク月次……………12
- ▽【資料】ソーセイジ製品4月POS売れ筋品目&ストランキンク月次……………13

目次 (禁断転載) 次

Nipponham Group
人輝く、食の未来

食肉施設設計・施工・コンサルティング
食肉業界をリードする
花木工業株式会社
本社 〒110-0016 東京都台東区4-20-5 TEL03(3834)1561